

トータルPAI-1 (tPA PAI-1複合体)



奈良県立医科大学
Nara Medical University

plasminogen activator inhibitor 1

基本情報

JLAC10	分析物	2B310	プラスミノゲンアクチベーター1	JLAC11 (暫定案)	測定物	B2381	プラスミノゲンアクチベーター1
	識別	0000			識別		
	材料	022	血漿		材料		
	測定法	062	ラテックス凝集比濁法		測定法		
診療報酬	第2章 特掲診療料		第3部 検査(1)		第1節 検体検査料		
	0						
	D006	遺伝病的検査					
	33	プロテインC抗原、tPA・PAI-1複合体		240			
	0						

検査オーダー・検体採取

患者同意に対する 要求事項					
検査結果に影響を 与える検査情報					
オーダーボタン					
検査予約					
至急オーダー					
時間外オーダー					
検査予約・オーダー					
患者の検査前準備					
検体採取のタイミング					
記号	添加物(キャップ色等)・ 採取容器	採取材料	採取量	測定材料	検体ラベル(単項目オーダー時)
140	外注クエン酸Na	血液	1.80	血漿	31-9001 1 / 1 [1] イダイ タロウ ろ 00001-2345-6 **** 140 ****
					140 外注クエン酸Na 1.80 mL 黒 血液
採取容器について					
検体採取について					
検体搬送について					
病棟での検体保存方法					
再検査・追加検査の対応可能日数					
検査不可検体について					

9644

0

2020/6/1

トータルPAI-1 (tPA PAI-1複合体)



plasminogen activator inhibitor 1

検査結果報告

測定機器	全自動臨床検査システムSTACIA
検査所要日数	2~5
検査部門	外部委託 [SRL]

採血後，速やかに低温(4℃)で血漿分離してください。室温遠心や専用容器 (L) での採血はデータが高値となるため避けてください。速やかに分離できない場合は，氷水中に保存し，1時間以内に血漿分離してください。測定対象はトータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体および活性型，潜在型PAI-1) です。

基準値

期間		基準値設定材料	血漿
測定方法	CLEIA		
項目	男性	女性	単位
1 トータルPAI-1 (tPA PAI-1複合体)	50以下	50以下	ng/mL

緊急異常値

電話連絡・苦情対応

トータルPAI-1 (tPA PAI-1複合体)



plasminogen activator inhibitor 1

臨床情報

臨床的意義

プラスミノゲンアクチベーターインヒビター1 (PAI-1) は, PAを特異的かつ即時的に阻害することにより線溶系反応の開始段階を制御する。PAI-1は血中では活性型, PAとの複合体, 活性のない潜在型などとして存在するが, 非常に不安定な物質であることから, トータルPAI-1の測定が最も臨床的に信頼できるものと考えられる。他の凝固線溶検査と併せて測定することにより, 凝固線溶異常における痛態把握や治療効果判定の指標として有用と考えられている。

異常値を示す病態・疾患

関連項目

参考文献

変更履歴

2016年4月1日	平成28年4月診療報酬改定
2018年4月1日	平成30年4月診療報酬改定
2019年6月1日	電子カルテ更新に伴う依頼手順変更改定
2020年6月1日	令和2年4月診療報酬改定

URL <http://test-guide.srl.info/hachioji/>